

子ども向けマンガで循環器病予防を啓発

国立循環器病研究センター、京都芸術大学と産学連携プロジェクトを開始

株式会社明治安田総合研究所（代表取締役社長 森本 律子、以下「明治安田総合研究所」）は、国立研究開発法人 国立循環器病研究センター（NCVC、大阪府吹田市／理事長：大津 欣也、以下「国立循環器病研究センター」）および学校法人瓜生山学園 京都芸術大学（KUA、京都市左京区／学長：佐藤 卓、以下「京都芸術大学」）と、産学連携により、子どもたちが循環器の基礎や循環器病の予防について学べる「**循環器病啓発マンガ制作プロジェクト**」を立ち上げました。

心臓や血管に関する病気の総称である「循環器病」は、日本においてがんとならぶ多くの人の命にかかわる重大な病気です（※）。子どものうちから循環器病に関する正しい知識を身につけ、日ごろの生活のなかで予防意識を持つことが重要です。

（※）循環器系の疾患は、日本人の死因のうち約 22.8%を占め、悪性新生物＜腫瘍＞に次ぐ規模である
（厚生労働省「令和 7（2025 年）人口動態統計月報年計（概数）の概況」）

今回のプロジェクトでは、京都芸術大学でキャラクターデザインを学ぶ学生が、小学生向けのマンガを制作します。医学的な知識をそのまま伝えるのではなく、キャラクターや物語、映像表現をつうじて、身体の仕組みを「みえるもの」「感じられるもの」として届けることをめざしています。

〈プロジェクトのねらい・社会への還元〉

本プロジェクトで制作したコンテンツは、自治体が進める循環器病予防活動のサポートや医療機関の啓発イベント等で活用し、広く社会へ還元することを想定しています。

専門機関の正確な医学的知見と学生の柔軟な発想により、これまでにない親しみやすい啓発ツールを創り出すことで、地域社会における健康リテラシーをいっそう醸成し、子どもの段階からの予防意識の定着と健康増進に寄与することをめざします。

■国立循環器病研究センター（NCVC）について

国立循環器病研究センターは、国の医療政策と一体となって国民の健康を守るため、循環器病の究明と克服をめざして 1977 年（昭和 52 年）に設立された、日本で 2 番目の国立高度専門医療研究センター（ナショナルセンター）です。

心臓疾患および脳血管疾患の診療・研究の専門家が企業と連携し、治療成績の向上、新たな医療技術の開発、ならびに高度な専門医療人材の育成に取り組んでいます。

所在地：〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6-1

URL：<https://www.ncvc.go.jp/>

■京都芸術大学（KUA）について

京都芸術大学は、通学課程と通信教育課程を併せ持ち、約 24,000 名が在籍する国内最大規模の総合芸術大学です。2027 年に創設 50 周年を迎えます。

通学課程（芸術学部 10 学科 24 コース）では、“社会と芸術”の関わりを重視し、企業や自治体と連携した「社会実装プロジェクト」を年間 100 件以上展開。アート・デザインの力で現実社会の課題解決に取り組む実践的な教育を行なっています。

通信教育課程（5 学科 20 コース）は 1998 年に開設された、日本初の 4 年制芸術大学通信教育課程です。全国・海外から多様な学生が学び、在籍者数において私立の通信制大学のなかで国内最大級の芸術大学となっています。年齢や経験を問わず、芸術を学べる環境を提供しています。

所在地：〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山町 2-116

URL：<https://www.kyoto-art.ac.jp/>

■明治安田総合研究所について

明治安田総合研究所は、“明治安田”のシンクタンクとして、ヘルスケア領域、先端テクノロジー・ビッグデータ等のデジタル領域、経済領域、生活設計、社会保障等の各分野における基礎調査を行なっています。さまざまな領域の専門家と協働し、お客さま視点に立った創造的かつクオリティの高い調査研究成果を発信することで、お客さまの価値創造に貢献しています。

所在地：〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-11

URL：<https://www.myri.co.jp/>